

穴李
名寄

合類俳諧忘見

秋



		立琴	年波リ	芊せふ轄取 捩の紫 芊の紫の處にて捲 二牛に供めりえ 握ハ堵ノ一種ニ
		星何	星迎	天の川
		女嫁メ後女織 ラツトメスヨツテ	天漢 <small>并ニ 内レ</small>	織牛 <small>一名織女 織女ハ 河鼓オリヒバ 天帝ノ</small>
		天川ヲ隔テ年ニ一度逢シム		
	七夕	七夕姫	石子姫	多羅姫
		七夕七姫の名ニモ 一ノ名ニ出ナリ	乙巳の丹	鶴鳴姫
		ハセモノの家と舟ス	書迎舟	秋さり姫
		積てみゆき代リよ		
机硯洗	北野の神事ニ 智人女ヘ	み紫榜ハ雲コレハコトニ有ニアラス 警ハアラマレニ云ナリリ一ノ字		
		2ありぬ列の後前ノ舟よ隊乞巧奠		
		荆楚歲時記七夕婦人結絲縷穿 七孔針或以金銀鑰石爲針陳氏		
		莫於庭中以乞巧有嬉子 網於凡上則以為得巧		
		七夕の池	七ツの盤に水と 入て淺とづけく	

補星の勢

星の氣をうつすとりつる石箇の池ハ天の川とも
リ一亦而の鹽ニ水をなへてゐるどりふとし
内口生子向内男七夕 内女七夕 口二口生子並花とお此葉と佈

ヘ室燈ふと日ごと書ああふ子の走きかこと又 七夕祭寫 む
のまあり

一高辛子の小子七月七日に死たり其灵鬼とめて人ニ癪病といひそ
のゆ日小糸餅を以てあれも年中の癪病と阵くと云
可今ハ索 麹を食す

節供

日正月ノ所ヲ

七夕鞠

元吉井家

祭波家

衝突入 十六 昔ハ諸国ニツト入テ家々秘藏セル器財嫁娘妾ニ至
日 ハテ常ニ見タキ物ヲ客殿居間ニ限ラス深ク入テ見レ
「ミ近曾ニテ勢州山田ニ侍リシ故ニ世人山田ノツト入ト

云物ヲ蓄フルハ貪欲ナルユエ懺悔ノ為ニ見セシムトナリ

中元

十五

生身魂

日 利祐

生身魂

蓮飯

生身魂ハ本犯を餐

ナ刺鉢蓮飯ハ親戚

残暑 簡易

暑ソ去ルヲ
送ル意ナリ

○曳乞

花火

身入風

身よしむ 身よ志めて 同冷 嘘吹 狂人の性をもんと
して吹きと云又寒さをさる爲 二而十日 立春ヨリノ日數ナリ早稻ノ蒼
朧をさる時のすとも

初春

立春ヨリノ日數ナリ早稻ノ蒼

月

氣形門

七月

残暑

秋燥

法事

初春

加虫

七月十六日トゾ和

云二歳毛^ト易ルヲ而鳥屋ト
云三歳^ト兩片鵠ト云く

雀誠^ト隼^ト鶴^ト皆小

唐山別

唐の葉を立^ト又母^ト唐^ト鳥^ト其外小鳥狩ナリ

鷦^ト鷯^ト其外小鳥狩ナリ

處暑候也先

殺鳥而不食

いな虫

虫送る

虫返

茶立虫

形微

見工ズ障子ナドニ^ト茶アリ人同ヘハ

邑ヲ止ムソノ^ト茶^ト黒ルニ似タリ

見工ズ障子ナドニ^ト茶アリ人同ヘハ

茶^ト黒ルニ似タリ

茶立虫

形微

かけろふ

かけろふ

やんま 猛虫 虫

むし

むし

むし

鳥蟲冬蟲 蟬 蜻蛉玉篇 蟬ホバタクリ 似鳴而大也

寵馬

鳴鳩ホウトリ

寵馬ホウトリ 鳴鳩ホウトリ ナガニナルカ

似鳴而大也

ナカズ正黒ナルハヨクナク其鳴ヲコホロギト
云ニ鳴ヌトイトボト云ヒイトヂ匂イフカ

當虫

當虫カミシム

玉虫 脊山綠ヒラタケ 襲虫 虫 枯葉ヲ喰糸ヲ吐糞ヲ作ル形燃リ艾ノ如シ枝ニ

蟠

蟠ホウトリ 斯氏中ニ小虫ヲ生スソノ

織虫 其虫モ亦黒色誠陵アリヨリく首ヲ出シ嫩葉ヲ喰フ枕草紙ニ八月
えウリに有れハ又よくとそなみいみく矣ニ云々又未其邑

當

當カミシム 斯月又未其邑

馬追虫 全体青ク首ヨリ脊ニ班アリ身六歩ハカリ監
ナガク羽青ク一寸余リ鳴邑シイツトイニテ

當

當カミシム 斯月又未其邑

舌ウチメ馬ヲ追フ 蚊蚋鳴 蟋蟀 蕃蛋共ニ内シ年波艸
ニ似タリ

當

當カミシム 斯月又未其邑

訓メ世俗ニ云コホロギ真ノキリスニテ世俗ニ云キリスハ誤
リ云ニ是ハタオリナルベキカトゾ又莎鷄サキキリスト訓メ一名絡
緯似蝗而斑有翅數重下翅正赤六月飛振羽ハタオリ鱗斯氏長ニ寸許青色
有邑云ニ是六月ニ出ス絡線ノコナラン 促織 鱗斯氏長脚有毛兩足ヲ
捕レハ俯仰メ形機オルニ似タリ其老タルハ灰赤色黒魚增イシナシ稻谷
ヨク跳テ邑ヲナス吉々ト云カ如シ促織ハ蚕ノ別名トモ 稻谷 鱗斯氏

當

當カミシム 斯月又未其邑

テ小ク長一寸許イ子ツキコドロト
云フコレモ俯仰ノ形ニヨウテ名ク

松虫

蟋蟀ノ獸體長
ク肢黃ナリ

天虫 蟑蟀ノ數真黒ヘ松虫ニ似テ首小ク尾大ク
脊窄ク肢黃白或云松虫鈴虫異名一實也

當

當カミシム 秋月鳴而色

當

當カミシム 青紫者云々

長ク疾ク走リ跳ル鳴
音書ノ音シデキガ如シ

當

當カミシム 青紫者云々

蟻冬蟲 蟻ノ數長三四寸

當

當カミシム ワナリ

蟻聲ホシナ 蟻声ヲナス者

當

當カミシム ワナリ

常山ノ虫 常山ノ木ノ心ヲ触

當

當カミシム ワナリ

殘蚊

當

當カミシム ワナリ

七月

草木門

一葉散

桐柳

梓サクラ 梓サクラ 葉抱ニ似テ狹ク尖紅葉ス和三和名
由之高者丈余五月辟白花ヲ開ク亦豫探

ヲ作ト名ク同
名異種也トツ

淡柿橘

杣カキ 杣カキ 苍ハ白シ葉班点アリ夏開ク葉ハ柵ノ

葉ニ似テ小シ早ク脱ツ苍凋テ莢ヲ結

楓

葉ニ似テ小シ早ク脱ツ苍凋テ莢ヲ結

フ數十簇ヲナシテ枝間ニ垂ル長
尺余線ノ如シコレヲ撇線ト云

葦朝顔共
二同シ

日乾草 本槿

草の苔 茗荷花

報夢ニ生子
即苔ナリ

萩苔 これら苔

鹿児苔 風竹苔

萩ハ翠ヨリ小ニ
メ中空心葉モ亦

小ク皮

萩苔

鹿兒苔

古松苔

鹿鳴艸

補系苔 厚シ

小萩

アヤムヒキ

古松苔

鹿鳴艸

女序花

黄男序花

茶苔

開黃花極

秋海棠

みづく花白きことこと

芭蕉

稀トツ

ひとく艸

小車の苔

旋霞花ト書ク長一二尺葉如柳莖細ク苔深黃色如菊花

桔梗

ひとく艸

ありの桜洞

和名阿里乃比布木

蘭

あらぎ

ふらばう

一幹一花ニメ香餘リアルヲ云一幹數花ニメ香足ラサルヲ蕙トス倭名

拉蘭布知波加万大和本艸眞蘭和名藤袴又アラキト云の蘭有數種蘭

蘭

和三夏生苗葉其莖有赤有白中空

沢蘭生水窟山蘭即蘭草之生山中者蘭花亦生山中与三蘭迦別葉如麥門冬トソ是今世蘭ト称スルモノ也

蘿袴和三藤

三葉似女郎花葉而無切刃六月開細白花似繡線花云狼尾草狗尾草大子艸穗ノ象狗尾ニ似タリ黃白色ニメ實ナシ

原野埴牆多ク生ス

芭麻

ひはー

和三夏生苗葉其莖有赤有白中空

其葉似大麻葉而大每葉凡五尖夏秋間極裏抽出花穗聚々黃色高丈余每枝結子大如豆

益母草

和三夏生苗葉其莖有赤有白中空

葉ハ荏ニ似テ方莖白花ノ花節間

二生ス亦節々穗ヲ生ス四五月穗ノ内小花ヲ開紅紫色トモ其功婦人ニ宜ク目ヲ明ニシ精ヲ益ス

角力草

和三夏生苗葉其莖有赤有白中空

葉ハ荏ニ似テ方莖白花ノ花節間

小児ノ戯レトスルヲ以テ名ク〇

葉ばい

和三夏生苗葉其莖有赤有白中空

葉ハ荏ニ似テ方莖白花ノ花節間

一種紫花地丁ヲモ角瓶艸トス

角瓶艸

和三夏生苗葉其莖有赤有白中空

葉ハ荏ニ似テ方莖白花ノ花節間

ノ穢ニ似テ西々對生シ枝極アリ小黃花草、五瓣ニテ細葉アリ莖ヲ結フ三稜アリ中ニ細子アリ葉ニ用フ昔鷺飼暗穢其葉ニ精メ神ニ入鷺傷ヲ被ルヲアレハ葉ヲ按テ傳ルニ愈ユ人草名ヲ同庄穢メ不言家弟アリ密ニコレヲ洩ス時歎念テ及傷ス因テ名ク

水引の花

長キ穗ニ小花

觀音草

六七月抽莖開小深紫花成

葉似大葉麥門冬而薄

曼珠沙花 捻子花

死人花

春ノ初生葉蒜ノ秋ノ如ク四方ニ
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

箭幹ノ如シ長尺許莖端ニ花ヲ開ク

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

四五朶六出紅色山丹花ノ狀ノゴトシ

五月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

苗似薑花白質紅

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

末秋出莖心而無實

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

アリソノ葉西々對生ス小兒戲レ

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

ニ花ヲ身ニ点メ灸ニ擬スルナリ

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

水かけ艸 水ヲ手向ルノ意ニ又稻ヲ水

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

仙翁寺ハ 今絶ユ

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

常山葉名蜀漆其葉甚臭葉皺

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

不沢六月開細花白紅雜攢

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

仙翁寺ハ

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

花紫

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

高二尺許花真紅ナリ世ニ傳フ嗟

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

圓瓣五出ニメ内ニ黃鬚ナシ其色白シ又粉

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

紅及ヒ黃色ノ物アリ実ヲ結フ形円尖ナリ

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

花野

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

茅の小き

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

一丈草

四月
散メ地ニ布七月苗枯一莖抽出ス

七月

服食門

豌豆

重出

西朶

俎豆

強光豆

綿豆

一名布瓦黃花

開小白花結實

四尺深綠色嫩時ハ皮ヲ去蔬トス

南朶

天朶

一名布瓦黃花

木瓜の宴

時珍曰其實加小瓜而有鼻○和三称木瓜者不合本艸注乃是木桃而非木瓜藥肆以充木瓜近頃有唐木瓜者人愛其花乃是

真木瓜

挑實

梨

杏ノ如ク味酸澀不堪食但聖吳祭ノ果トス

瓢

ひきす

父孫の実

燒糸

糸是ヒラタコメハ稻ヲカリ糸ヲ革ノ出ルマデ烹テ乾カレ確ニテスリ巻ク

七月

公式門

新掃奉

十六日

内庭の貢の洗い或況て蚕絲の毛也

廣瀨祭

四日

龍潤糸

四共二四月日

七今曉北野松檜院獻御糸

水於神前松風硯添繡葉

文殊會

八東寺西寺二日

テ行ハル

供之今日社壇煤

拂アリ

六道糸

九日

迎待

換衣

六道在五條末北建仁寺巽角紀事諸六道地藏謂男女撞鐘而迎聖吳各買檀枝而拂歸又買新穀供

聖吳是

清水千日詣

自九日至十日今日參詣スレハ平日ノ千度或ハ四万六千日ニ當ル云く但元亨親

書ニ俗說ナリトツ俗ニコレヲ欲日ト云

三井寺女詣

十五日

孟蘭盆

以目蓮救

母為始也梵語孟蘭此云倒懸也盆則此方器也

羅百味式貢三尊仰大眾之恩光放倒懸之窓急

迎火

十三日

聖吳祭

魂棚

棚経

麻木筭

胤尾蒼

水掛畔

茅花市

送火

枝豆

枝小角豆

此外掛索鶴根芋和米茄子等モ

施餓鬼

墓詣

切籠

高灯籠

灯籠トバカリ

施火燒

大文字火

東山淨土寺ノ山上大文字

冬井火

アタゴ山日船形火

山岡

妙法火

北山松

此外所々山岳并原野諸人競集燒枯麻條并燭

枝破子公卿臺是謂聖吳送火又稱施火

母為始也梵語孟蘭此云倒懸也盆則此方器也

羅百味式貢三尊仰大眾之恩光放倒懸之窓急

江湖別 江湖ニ集リレ
僧チルヲ云

宿待

佛寺或ハ四衢ニ店ヲ開テ往来人ニ茶湯ヲ施スヲ門茶ト云

水灯會 紀寔十六日夜宇治川船中燈之則水中施食之法

也畧遊覧船數千前後相連又東西堤上見者如堵

御灵附出 十八

御灵社上在京極北西下在京極大炊御門北上下御灵

日

神輿各一基今日御出遊行八月十八日有祭八所御灵

地翁ね 九四

洛外六所地藏諸所謂加茂御菩薩池山科伏見

御狹山祭 九七

坂入姬命此祭ニハ薄ニテ神殿ヲ造ル其外人ノ家モ祭ノウチハ薄ニテツ

クル往古ハ敕使ヲ立ラル彼ホヤト云ハ敕使ヲ尊敬ノ為ニ新ニ仮屋ヲ

設タルニ今モ其余風ニテホヤヲ作ルニ

○峯入

三月二
註入

三秋渡門

みさ山狩

猿谷作信州上諏方建御名方富命下諏方ハ

○稻妻

日

鳥羽桂太祭是也凡一日六所之行程十里余也

○霧

日

坂入姫命此祭ニハ薄ニテ神殿ヲ造ル其外人ノ家モ祭ノウチハ薄ニテツ

クル往古ハ敕使ヲ立ラル彼ホヤト云ハ敕使ヲ尊敬ノ為ニ新ニ仮屋ヲ

設タルニ今モ其余風ニテホヤヲ作ルニ

○峯入

三月二
註入

○稻妻

日

坂入姫命此祭ニハ薄ニテ神殿ヲ造ル其外人ノ家モ祭ノウチハ薄ニテツ

○霧

日

坂入姫命此祭ニハ薄ニテ神殿ヲ造ル其外人ノ家モ祭ノウチハ薄ニテツ

○稻妻

日

坂入姫命此祭ニハ薄ニテ神殿ヲ造ル其外人ノ家モ祭ノウチハ薄ニテツ

下冷

三秋

下冷

秋ニ用エシスサシキハ

秋ニ用エシスサシキハ

秋ノ深
キヲ云

○築

川狩

毛見

檢見

粧ふ山
秋山ノ形
容ヲ云

律の調
ハ秋をつづらう。又律ハ陰と

ある。うつり秋風の音もはてゆあふ
以あれハりよえ又風の音の下に住す

秋の暮

磯

土臼

土臼作

夜なき

石牛と丸

鷹

。鷄舟

鶴鴒

夜なき

石牛と丸

鷹

。鰐

鰐約

海ニ近キ所

鮫

九万足

名九万足以其量有之
謂乎又津ノ字ト云

。鰐

鮫

和三作鮫

川鱈

鰐

海支

鮫

鮫約

リハ九月稍長メ六七寸色亦黒減

シサラシ洗フカ如ニ故ニ名ク

ノ芒ハ穂ニ出又ヲ云旗芒ハ穂ノハタヲサケタルヤウナルヲ云十寸
穂ハ尺バカリアルヲ云麻苧穂ハ糸ノ乱レタルヤウナリ真蘿宇ハ赤キ

虫

鮫

鮫

葉芭
芭加ヤ長短二種アリ

萱
芭加ヤ長短二種アリ

櫛

鮫

鮫

葉小淺青色莖微赤三月

鮫

鮫

千種荳

稻苅

稻

稻

番椒

射朱

古宋

射酒瓶

卷ハ九月ニ出

龍田姫
秋ヲ領スル追考佑保姫

ノトニ註ス

。衆

八月

三才門

葉月

書穀之氣生百卉落葉故曰葉落月

月見月

秋風月

壯月

今略メ称葉月一說ハ初月トカク
爾雅曰八月為壯

仲秋

增竹春

竹譜竹以八月為春

桂月

郭璞注云未詳

增厚來月

又燕去月

トモ云

南呂

律書陽

氣之旅入藏也月令廣義南任也呂助
也言陽氣尚有姓生陰助陽成功也

向宿 節

株分 八月
ノ中

八朔 たのめ祝 円面の日 繕り器

京俗今日家々の乳
母初黑一双と以て

其妻より所の女児に縁結びの肉に生柿并ニ蒜をと等る蒜をハ
白絲縁エ赤小豆と点す。おも後嵯峨帝忌宮の時より起るとも云

天中節 朝日ナリ傳言凶惡日也陰陽

ソクツツ竹ニテ水ヲアヤツリ
モ又燒船トテ馬・尾ヲ燒テ田ニ立レハ鹿ソノ田ヲハマニ余本国南條
郡廣野邑ニテ老夫ニ向ニソメサスト答フソメハサレスセソノ通ヘルカ

引板 漆水ニ
内シ

鳴子

風ニテ鳥オドスモアリ人ノ經ヲ引
モアリ又鳴竿トハ鳴子ヲ付シ草ナ

業山子 鳥おどり 落一水 肌寒

うぢ寒 やまと

衣寒

大波あづみ

鈴寒

初潮 秋ハ令
年あれ

名月 三五夜

初月

三日月

待宵

小朧月

名月

東月

退之カ新月似磨鎌
トハ三日月ナリ樂

望ム

望月

西月

公幸に十六日駒亭
北かハモ代達局の

既望

十六夜

正月

退之カ新月似磨鎌
トハ三日月ナリ樂

既望

既望

正月

公幸に十六日駒亭
北かハモ代達局の

天カ三五夜中新月
色トハ十五夜ナリ

望月

日ト相

名の月

けの月

月の客

月元

日

月令月

日

革名月

日

臘待

十九日亥中月九日

駒迎

駒亭

公幸に十六日駒亭
北かハモ代達局の

夷爾の約

日

御國忌

十九日未ト五月初十日

御國忌

日

云て

又十六日行法ね仗牧の事六十足ある十七日甲斐總波の馬サモ試験

小室勝るに十足モケ秋又勝るせ足を勝る十五足共三口往復月歩

日

云て

又十三日正月上陸勝る事十足ある

とありて高車の事あつて後劫を乞

日

放生十五日

季と放つ

魚と放つ

時山春二注ス

社日

立秋後五戊日

暴風満灌

八夜知又乃和木乃加世

砧キヌカ石也冬云ねミバ

伊太杵岐沼拂衣石也冬云ねミバ

日

高車の事あつて後劫を乞

日

高車の事あつて後劫を乞

日

高車の事あつて後劫を乞

日

高車の事あつて後劫を乞

日

八月

氣取門

初唐

大ヲ鴻ト云鵠ハ俗云野雁ナリ又白雁ア
リ海雁ハ海ニアリ常ノ雁ヨリ微小ナリ

鴨

時彌

時の羽接と
モリクリ

本
キツキ
宿り毛の内ニあり毛を別ヌ出ヌす不
テラマギ
蜜ガシラウチ古に傳フテ義を

鴨

小毛波

毛毛波
色々ノ鳥ワ

山雀

掠毛

鶯

五十雀

小雀

山雀

掠毛

鶯

頬白

鵠
日雀
トモ

啄木鳥

衆鷹

鶯

頬赤

鶲
鶲

鶲

羣雀

連雀

鵠白

鵠
稚子鳥
内

鶯

鶯

同向毛

擣子鳥

鵠
鵠

鶯

住須加鳥

同向毛

以上ノ類一句離レテハ雜季ニツレテハ春秋鶯未ヲ

断ルニ不及
形狀イツレモ春ニ註ス

帰ル燕

礼燕

約毛波

春毛

共毛

賜

貢
おとす

旅の草木毛

旅のさ

旅の下物

也

ノ

そい鳥

鵠
ナラン

鷹打ハ巖屈ニ

小草ヲ結テ居
リ羅ヲ樹間ニハリテ捕ル

形似鳩而小頭脊至尾黃褐色眼及嘴顏容似小鵠眼近黑眼上白條引頸臂
黑而未曲頬臆白腹黃赤有黑橫筋翻白羽黑脛掌黑爪利而每擊小鳥食之
其色高喧如言奇異○早贊トハ八雲モヅノクツテハ我身ガハリニカヘ
ルヤウノ物サシテ置ナリ歌林良材鵠ハ時鳥ノ沓又ヒニテ有ケルカ沓
手ヲトリテカヘサバリシニヨツテ其カハリニカヘニヤウノ物ヲ草ノ
莖ニサシハサメルヲ云ト云リ本說ナシトイヘ正後人トリ用ヒテヨメ
ル哥モ有ニヤトゾクハ草ニ於の毛やろくとソヨモモテドロヘの
莖茎にモモクル虫リハ體ふとをもてき一時毛の多よとモクモハ

菜大根蔚 罂粟蔚 十五夜ニハナバ甚盛
ニシテシダレトゾ

苦菜蔚

八月

氣死門

初鷹

大ヲ鴻ト云鷹ハ俗云野雁ナリ又白雁ア
リ海雁ハ海ニアリ常ノ雁ヨリ微小ナリ

曉鶴

時の羽接と
モリツリ

本家キツヤキ 俗り多ウ因ニありを別ニムササ不
テラマギ

蜜かくらかおに儀つて哉モ

鳴

小鳩コトリ

色々ノ鳥ワ

幼鳩

五十雀

五十雀コトリ

小雀

山雀

掠鳩

鶯

鵠カガハ

日雀ヒタチ
トモ

啄木鳥チラツキ

鶲カツギ

衆鷹スズカ

以上ノ數渡ル来ル
ト云テ秋ナリ

頬赤

鸕

鶲

翫雀スミツキ

連雀

頬白カブトシロ
擣子鳥タリ
内ナカニ 鳴ヒナ
鶯ヒタチ
鶯ヒタチ
内ナカニ 鶯ヒタチ
内ナカニ 住須加鳥スミヌカ
内ナカニ 鶯ヒタチ

以上ノ數一句離レテハ雜季ニツレテハ春秋鶯未ヲ
断ルニ不及形狀イツレモ春ニ註ス

歸ル燕

札燕

二約毛

春毛

燕鷗ヒタチ

未タ人

也モ

鶲

賄カネ

鶲ヒタチ

鶲ヒタチ

鷺打ヒタチ

巖屈イワク

小草

ヲ結テ居

リ羅イワシ

ヲ樹間ニハリテ捕ル

形似鳩而小頭脊至尾黃褐色眼及嘴顏容似小鵠眼近黑眼上白條引頸嘴
黑而未曲頬脣白脰黃赤有黑橫筋翻白羽黑脰掌爪利而每擊小鳥食之
其色高喧如言奇異○早贊トハ八雲王タツノノクツテハ我身ガハリニカヘ
ルヤウノ物サシテ置ナリ歌林良材鶲ハ時鳥ノ沓又ヒニテ有ケルカ沓
手ヲトリテカヘサザリシニヨツテ其カハリニカヘニヤウノ物ヲ草ノ
莖ニサレハサメルヲ云ト云リ本說ナシトイヘ此後人トリ用ヒテヨメ
ル哥モ有ニヤトゾカリ内草之詩のモヤスムヒシテモテモテモテモハ
莖茎にせざる虫カリハ惟ふとをもてき一時季の名もよとモテモテモハ

かくくくとりつり八月の傳説又説もありけ説ニ色へ

すく云々只冬の餅を絆人ぬへ賄おとくとハ後勘定也

稻肩鳥

本書三鳥ノ一不可知云々或松説又八説あり一雀二鷹三山
季に白鳥立水鷺六鷺七こと季ハ芙蓉鶴中暑寺長くひいて

も早衰いふるせ季ハ芙蓉鶴即ちく見ト

ムツク云々○系仰詣ニハ馬のトク云モ

鷺

鷺鳴

鷺鳴

其色如曰知地狀有數品嘵々快為

上每早旦日午夕暮鳴凡春二三月

始鳴至芒種止色六月又更發色至中秋止色人報之其雌者小足
不曉呼曰阿以布○片鱗トハ支ぬそくぬと云

鷺

鷺とハ章枯也

鰐

初鰐

初鰐

其色如曰知地狀有數品嘵々快為

上每早旦日午夕暮鳴凡春二三月

シ鮭ニ

鮭鳴

鮭

太刀魚

太刀魚

其色如曰知地狀有數品嘵々快為

江州

江州湖

似タリ

似鮭而頰著

似鮭

駿州

駿州

其色如曰知地狀有數品嘵々快為

鹿苗

鹿苗

鹿苗

鹿苗

鹿苗

其色如曰知地狀有數品嘵々快為

蛇百足石龍

蛇百足石龍

蛇百足石龍

蛇百足石龍

蛇百足石龍

其色如曰知地狀有數品嘵々快為

子其外

八月

草木門

初秋桑

八月折葉本鷦鷯冠

木犀

南方艸木狀曰江南桂

和三葉似海石

屋也和三葉似海石

屋也和三葉似海石

芙蓉

木芙蓉又木

木芙蓉又木

野菊

黃花ナリ白ニ紫ヲ

帶ルハ姫菜ナリ

野菊

黃花ナリ白ニ紫ヲ

帶ルハ姫菜ナリ

雁來紅

木芙蓉又木

雁來紅

木芙蓉又木

雁來紅

木芙蓉又木

金剛草

山野處有之高三尺

莖枝花葉並似蘂而小七月

開花作莖其根甚強故可繫牛馬俗呼名駒繩

金剛草

山野處有之高三尺

浮梗

和三高近二尺葉似山丹葉而短三四月

葉間開花形似桔梗而小

如シ又浮梗ノ花ヲモ沢

如シ又浮梗ノ花ヲモ沢

如シ又浮梗ノ花ヲモ沢

桔梗

和三高近二尺葉似山丹葉而短三四月

葉間開花形似桔梗而小

如シ又浮梗ノ花ヲモ沢

如シ又浮梗ノ花ヲモ沢

如シ又浮梗ノ花ヲモ沢

我木香

吾亦紅庄本名玉波宿根二月苗ヲ

生シ初生地ニレク独莖直上高三

生シ初生地ニレク独莖直上高三

生シ初生地ニレク独莖直上高三

生シ初生地ニレク独莖直上高三

四尺對し分テ葉ヲ出ス榆ノ葉ニ似テ秋ヲ七月花ヲ開ク擣ノ子ノ如ク
ニメ紫黒色ト云々又花ハサカズ正〇苦ニ歎セルヲ真ノ吾亦紅ト云

葛の葉

葛の根

二註アリ

蓼の莖

穂蓼

細祐
紅白

色成穗隨

竹伐

縷工
細莖較葉細密如杉藻而表裏淺青色

高三尺許葉ハ煙

叶ノ如芒小シ

而結子

縷各

莖端出蔓八月枝又抽短莖開花形如

丁子樣

子ノ如芒小シ

中子○子葉ナルヲ仙壽菊トイフ

極特荳

叶ノ如芒小シ

紅ナリ形穗

木絨刈

高三尺許葉ハ煙

叶ノ如芒小シ

ノコトシ

鬼灯草

高三尺許葉ハ煙

叶ノ如芒小シ

青き者

ちくさの毛

月影ニサケバ

生山

原高

二三尺細莖葉每五葉兩々對生八月抽莖開細花狀如

胡蘿蔔花而粒々青色既開則正黃是亦可謂如薰粟乎

木草色附

苦参

原高

鳳仙荳

鬼の一草

万葉志れ葉系ア泡ニづれトモ鬼の一草

苦參

苦參

苦參

紫苑

鬼の一草

萬葉志れ葉系ア泡ニづれトモ鬼の一草

苦參

苦參

苦參

通メ角力艸

芋

芋

苦參

苦參

苦參

ト云ニヤ

芋

芋

苦參

苦參

苦參

成穂七八月開莖根葉「花ハ白丁花ニ似

牡丹分根

苦參

苦參

苦參

苦參

ト云ニヤ

木棉取

木棉取

苦參

苦參

苦參

月開花結實

苦參

苦參

苦參

苦參

苦參

根紫赤也

苦參

苦參

苦參

苦參

苦參

間引菜

拔菜

拔菜

苦參

苦參

苦參

稻

稻舟

稻舟

苦參

苦參

苦參

落穂

落穂

落穂

苦參

苦參

苦參

木の子

初草

初草

苦參

苦參

苦參

推草

推草

推草

苦參

苦參

苦參

羊肚菜

羊肚菜

羊肚菜

苦參

苦參

苦參

推草

推草

推草

苦參

苦參

苦參

推草

推草

推草

苦參

苦參

苦參

增 鼠耳

内 捻草 繖

一二寸 灰黑色

内 石草

革草

似松而
茸

繖外黒有粒皺晒乾正黒而加潔革裏黃赤ハ此外數種アリ畧ス草
ハ草ナリ或ハ地ニ生スルヲ草トシ木ニ生スルヲ草トス

今年葛菜 増 煙艸芒 小白花帶赤色キトモ

煙艸芒 紫苑ノ芒ニ似タリ

藍芒

花葉似蓼而七八月
開於紅小花又白花

牛蒡引

本艸

十月采 增 煙艸芒 小白花帶赤色キトモ

根云々 蓝芒 紫苑ノ芒ニ似タリ

藍芒

花葉似蓼而七八月
開於紅小花又白花

牛蒡引

本艸

モアリ穗
ヲナス

八月

服食門

鷄衣 短キ衣袴ナリ又裙ノ破レテ
鷄ノ毛ニ似タルヲ云トモ

鰐漬 鰐ハ小
鰐ナリ

葡萄 紫葛 紫葛ハ蒲萄ニ似テ實ヲ結バズ
又一種野蒲萄ト云アリ實小ナリ

茴香實 大
茴香者八角茴香也本朝未有之稱小茴香者即懷香也和羣種之高三四尺

肥莖粉青色細葉淺綠如桑葉莖夏開小花淡黃色結子形色似秕麥而小有
通中夏秋開紫花亦有白花者實長三四寸核黑瓤白食
之日美過七月采之○莖有細孔兩頭皆通故名
似桃而本窄俗曰唐孫一月而熟故名一熟其樹雖似批杷不然婆
婆葉似蓖麻而小背色淡潤文理隆明录識篇波奈々志久太毛乃

種瓢

苦實

零餘子

若煙艸

青豆

朶朶

增 芳朶支

蔓莖葉如葡萄而小七八月開小黃花結朶長者四五寸短者二三寸青色皮上無痕熟則黃色自裂內有紅

朶味甘可食和
三苦朶ト云々

八月

公式門

○釋奠

上二月二丁註ス

司召

十一日

定都内儀乎云公事にかさ
一のむと上マ以下の冠之内

に大臣ハ白菊納テ黄菊參儀ハヨリたんそアハ祭内のもとさす祭りモ
エアリハ入トハ二月の例見二月一日式兵の友省より法司の事の上日
と選成ナルマと列見トリトそれと出集て奏牛馬と擬階の奏ヒ月とい
ふ山人くと擇ヒムトさくめ仕るを空考トハヤマリ空考と文字にハ
とてけれト考究トさうさる増
スホシ侍るうロ傳シ云々

季御後院

二月二註ス

三村祭

一日

在泉州堺南莊大鳥郡開口村開口大明神者伊弉諾尊御

子事勝食勝國長狹也後合祭生玉明神牛頭天王為住吉
之外宮是ヲ三村祭又大寺祭ト云木戸村原村開口村ノ庄沙神トス大念
仏寺ノ鎮守神ナリ本書ニハ水村トアリ祭日月キカ故ニ註ニヨリテ三
村ヲ是トス

北野祭

四日

此祭甚美麗ニメ神輿下立賣ノ西御旅所ニ移シ奉ル

白鬪開帳

五日

江州湖西ナリ往古ハ開帳アリ元禄ノ頃ヨリ止ム今ハ唯内陣ヲ開テ宮殿ヲ諸人ニ拝セシムルノミ

祭神仲哀天皇二日神輿洗三日神夏四日後宴天神ノ森トヤハラ
云所御旅所ニテ神輿遊行ノ間十日許恭詣群集ス市モ有ハ幡祭

放生会 山城國雄德山正殿三坐中八幡宮東神功皇后西玉依姬○公

事之早旦に猿鳴と計樂^{カウカウ}セサム附ハ行幸の儀式ニテ

殷賀祭

十日

在筑前国祭神三坐應神興ニ社出中御靈離宮幸鉢八本荷フ祭鉢

幸のありさぬハ神人沐浴あるすて白杖とつきてゆきぬをと送り
まくる儀式え新て取扱ひてせぬとこれともタコはれとみて郊原に
くちぬとアセの手招を示しテ神事の程もつゝゆきときたると
しと云々放せ矣のるも神院とよつて也

箱借祭

十五日

在筑前国祭神三坐應神天皇武内宿祢神后皇后

八本一人下御吳神輿亦同脫出并殿鉢五本別當氏子等供奉

共入上御靈本社氏子作囃子遼物列神幸前後其駄善尽美尽ス

棗名祭

十八日

春日大明神社在勢州棗名祭神四坐絶津主命武甕槌命天兒屋根命姬太神

廿八日

春日神社在西院洛西葛野郡

○野官官在西院西平林中

菩薩祭

廿一日

於肥前長崎祭

舟神謂之菩薩祭○舟神名媽祖娘々俗謂之舟船^{カヌ}大傷^{カヌ}免人寺^{カヌ}ケ寺布^{カヌ}己亥祭流之此空の日ハ本祭も布裝未^{カヌ}て注^{カヌ}條^{カヌ}あり^{カヌ}年紀世考之^{カヌ}此日免人も向^{カヌ}の寺へ参詣。彼岸^{カヌ}すモ至^{カヌ}神と乙んよ^{カヌ}て^{カヌ}祭^{カヌ}也。山祭神中應神天皇左神功皇后右仲哀天皇○今此祭^{カヌ}ト^{カヌ}三月

十五日龜山祭あり是と乙帝坐と云安治天乞の侍祭礼也

宰府祭

廿五

後ち圓時蓋那祭神天滿宮每年御祭也天子も御古也
ニツトク一と神主處面にて石磐させより毎年石磐

一ツハ天子へ上り一ツハ裁ひて持ノ守へ添侍人アシタレヘ戴毛右御
石磐シロハシ此人臣役にて社家別當を下す五ヶ年一改御勅使立由

增開山忌

廿四日ヨリ

越前国志比庄永平寺廿八日ハ曹洞開山道元
禪師ノ忌日也愚云諸抄ニ諸宗祖ノ忌アリテ

タマニ此忌モレタル力
故ニ今新タニコレヲ出ス

九月

三才門

長月

秋月カク

寢覺月

梢の秋ハサキ

五葉月

暦月

律エキ○礼月令誥陰氣上升陽氣下エキ

害之月

霜降カキ

無射

降萬物隨物而藏無有射出見エキ

害之月

霜降カキ

暦月

季秋エキ

晚秋エキ

紅葉月

暦月

小内月エキ

季秋エキ

霜降カキ

重陽

茱萸杖

高登エキ

統齊諧記河南桓景隨費長房遊學
長房謂曰九月九日汝家有災厄令

家人作絳袋盛茱萸繫臂登高山飲菊花酒此禍可消景如其言舉家登山至

夕還鷄犬皆暴死長房曰代之乎今人至九日飲菊花酒始此又謂之登高會

西京雜記采菊花莖葉雜林木

釀酒至次年九月始熟用之

菊節句

補

栗節句

節供エキ

九月

ノ所ヲ見合スヘレ

○後之離

九月

四方の鶴

歸山の鶴

壁山の色

佛手山

蚊庵画

說云九月に蚊の少くて厂と書きけり災

て蚊の少くしてすと蚊子アブにてハ
而つ蚊子に厂の字を当てけるこ

下落葉

落葉

星月夜

秋の末星のキ

後之月

十三夜

二十九月

栗名月

至名月

月の名月

二月

細代歩

露月夜

露樹聞にうちて曉

露葉

露葉

秋雨

勞雨

風炉名月年貢

秋ふく

長き夜 明るく夜 明をすむ 夜露 露

秋の名物 美の娘 秋を惜む 九月盡

九月

氣形門

初鷹

晨飯

下り飯

濃飯

尾芒銷

稻網

新つ夷つ形

紅葉鮒

深秋其鱈紅ニ葉ス
コレヲ紅葉鮒ト云

雀成蛤

九月ノ節

射祭獸

九月ノ
中十日

九月

草木門

薺

序湯殿記

九月十五日
御殿の南階に小草をと多く植

て云々菊とりてある上の余り

丸菊を

修りて枝を付る

にをあざ防んだらある

菊の蒼

石在草

莖草

苦坐

陸圓

先才の者ありてオツ

を二ツと三つとあき時ハこれを見

てあくさむ

と云ふことあり

足とれひ菊を

齒艸

翁草

信吉の里

云佐の松

とて手より

茎のオトリ

よ

化して行

うをに菊をうみてや

うううううううう

うううううううう

うううううううう

うううううううう

竹とりよ

補ソガ

我弟

苦草

和帝

うううううううう

うううううううう

うううううううう

茅ホの

翁艸

春苗ヲ生レ葉麥門冬ニ似テ白髮ノ如シ後

長メ青色中心一莖ヲ抽テ小花ヲ開沿紫ニ

忍艸

草

一名風尾艸兼裁切出で恐れて苦より忍艸

忘美問答ニ核の義と似て忍草と云

一

ツ系ニ似る。を志まと云々されどもそのまゝの形あんとと見て論
ふし。一叶二名。いづれもして主へき。云々其葉濃よりてある。へきを
秋とふせ。ハリ。トダウ。人たうこ尾をうりくのふひ。是もアんとく空氣に説なり。

龍絶

ふひ草

えやミ草

九月開花紫加鈴

鐸形向上花中有蕁子又有正白花者名雀舌臘八モ可えや。ミモア
人たうこ尾をうりくのふひ。是もアんとく空氣に説なり。

鳥胃蒼 音樂草

花淡紫色形伶人一キル處ノ鳥

烏頭

鳥胃

シコレ川鳥頭ナリ鳥頭蘿頌曰附子其苗高三四尺莖作四棱葉似艾其花
紫碧色作穗其實細小如桑椹黑色又附子ノ字俗云一歲為側子二年為鳥
喙三年為附子四年為鳥頭五年為天雄

尾之川

裏枯

とく内傘に子榮のそと色付て枯る事也

柏散ル

和三木蒸蘆ヲ

試ちぬふりく訓きり高ニ尺莖葉微似芭蕉而狹長又似蜀黍苗有澆
黑皮裹蘆夏抽莖開黃花不如蘆花之艷南紀海濱溪洞ニアリトソ

苦咲弱蒼

春生苗至五月移之長一二尺與天

小豆

色かへぬ松水本

高者二丈花ハ藤花ニ似テ黃

大豆

葉實比梅嫌ノ如レ實ヲ賞シテ秋

ト 桜の山川桜仲ノ一種蔓生ノ物ナラン蔓生ニテ木ニ
倚テ登レ庄幹木ノ草ニ類セ木ノ属ニ日

光山近林ニ徃

佛甲草

岩生アリトソ

附石而生淡綠色初生形色似仏

座蓮華故曰磐蓮華層々生葉而

末窄梢圓小

白粉蒼

和三其花朝以後萎至夕陽
開實中有白粉優於鈎粉

鳥頭

カモト正字通

文英鷄頭也爾雅翼葉如荷而大葉上蹙劔如沸有齒刺兼有荀若鷄頭頭狀
一名雁喙中畧又管子地員曰其種雁膳卽雁喙又名鳥頭鷄頭云之花ノ花
三月ニ出其註五六月紫花ヲ開シト云ハ時珍ノ說ナリ池沼中ニ生シ三
月葉ヲ出シ荷葉ニ似テ大ナリシハミテ刺身シ六月比莖ヲ抽テ花ヲヒ
ラク形鳥ノ喙ノ如シ長サ一寸バカリ末尖リ鳥ノ頭ノ如シ故ニ鳥頭ノ
名アリ花ノ下ニ鷄頭アリ鳥ノ頭ノ如キハ花ノ藏ナリ中ニ実アリ花實ト
云○如此花實ノ時節ヲ考レハ花ノ花ハ五六七月ノ間ナルヘシ春ニ出セルハイブカンシ
葉長二寸許尖有鋸齒開小白花結子似
蔽梢子而五六粒攢生淡紅色而可愛

芦のそ

芦孔穗聚

紅葉

柞

桔梗

苦桔梗

桔梗

補桔梗

桔梗

桔梗

構^ハ桑^{木形如播}

七月結實

補^ハ櫛^{紅葉ナルモノ名ノ本チルモ秋ナリ但名}

ノ木トハ畧ニメ其木ノ名ヲサレテ云

ヘキ^{ナリ}

運^ハ櫛^{ナリ}

稻^ハ株^{ナリ}

絃^ハ條^{ナリ}

稻^ハ株^{ナリ}

啖^ハ稻^{ナリ}

穀^ハ田^{ナリ}

穀^ハ田^{ナリ}

稻^ハ孫^{ナリ}

荀^ハ跡^{ナリ}

荀^ハ跡^{ナリ}

九月

服食門

穀^ハ

九日小袖^{地下良賤今日著縞色小袖互相賀是謂九日小袖}

荀^ハ迹^{キシカサ子}
荀^ハ迹^{カサ子}面白裏紫

縞^ハ縞^{ウルカ}

鮎^{ノウ}鮎^{ノウ}

菊^ハ酒^{下ニシルス}

栗粉餅^{トウモロコシ}
栗粉餅^{トウモロコシ}麥面

糰^{ニ栗ヲ}

木の実^{木の実}

梅^ハ媒^{シルス}

條^ハの実^{シルス}

機^ハ推子^{テ大ナリ}
機^ハ推子^{テ大ナリ}

味^シ甜^シ

固栗^ハ瓣^ノ

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

味^シ甜^シ

固栗^ハ瓣^ノ

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

カシ^ハハ

核^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

ト訓^ス

核^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

芋^ハ

花^ハ三^ナ四^ナ月栗^ハ花^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

ノ叢生^ス

一^ナ苞^ハ一^ナ实^ハニ^メ核^ハノ实^ハノ如^シ亦^ハ一^ナ種枝葉皮^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

茱萸^ハ

擗^ハ子^ノ如^ニメ簇^ヲナス是吳茱萸^ハ擗^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

梗^ハ

木葉並似女貞而厚狹長三四月開小細花深赤色結子別其葉面如^シ者脹出中有小虫化出殼有孔口吹去塵埃為空虛大者如桃李人用^シ

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

胡椒^ハ

以代瓢簾故俗曰瓢木或^シ小兒戲吹之為笛駿州^シ有之^シ

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

榦^ハ

花^ハ櫛^ハ書^{シルス}加良保^シ木圓長三寸許小^シ山^ノ如^シ

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

味酸^シ

花^ハ林^ハ櫛^ハ又海棠^ニ似^シテ邊^シ開^シ

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

樹高^ハ

大枝葉皆如椿葉對生五六月開白花結子狀如銀杏熟黃也

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

樹中一核堅黑正圓如珠狀取為念珠又木患子今俗云苦提樹

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

柏^ハの実^{シルス}

九月

増節燈立日	増不堪内奏七	浙園の内扶古ノ新	公式門	九月
内シ	浙園の内扶古ノ新	浙園の内扶古ノ新	浙園の内扶古ノ新	浙園の内扶古ノ新
増大計賈へ俸常と奉らせまし	免一役少々を乞ひ故に相日より十一日小ちもまきて信尼寺に渡	増て和税を増例散市	公事に相日より十一日小ちもまきて信尼寺に渡	免一役少々を乞ひ故に相日より十一日小ちもまきて信尼寺に渡
虫撰	数上の道通とて候	每年の予りにてうかあり	浙園の内扶古ノ新	浙園の内扶古ノ新
拂	秋實をにらみせまし	拂はれの様とヤヒと名や昔ちりて作皆秋实に稀り立山也	拂はれの様とヤヒと名や昔ちりて作皆秋实に稀り立山也	拂はれの様とヤヒと名や昔ちりて作皆秋实に稀り立山也

增桐油実樟一実	新胡桃	楓の実	楓實	楓
熟拂	鳥拂	栗	栗	栗
海栗	芸栗	越栗	卷栗	海栗
增雲州掲實肥密掲ニ似リ大サモ	同	本名溫州橘ナリ	同	金相
相子和三乳相下云蓋掲相並總名而各有其種數惟曰掲者乃斥密相	和三ハ爰ニ署ス亦本細ニ掲有十四品云ミ	和三ハ印ヲ掲致トシ印ヲ相致トス	出ス豆五月ニ	新酒
中沒清醸濃味難花ハ黃色ナリ故ニ黃	餘難花ハ黃色ナリ故ニ黃	色ノ醸ビロクト云	造酒	酒
射苔若斐				酒

貪利会 八 泉涌寺舍利殿ニ

テ行フ音乐アリ

醍醐祭 九

城州宇治郡小野南醍醐寺天

神祭有能夜宮有能神輿三基長

尾天神清滄權現勝間明神也

貴布祢祭 九 在鞍馬北可一里祭神高靈神ノ水塘每歲此日小兒集

テ小神輿ヲ造リ市中ニ振ルコレヲ狹小輿祭ト云

下鳥羽祭 十 所祭牛頭天皇

在鞍馬北可一里祭神高靈神ノ水塘每歲此日小兒集

生玉祭 九 在攝州東生郡祭神天生玉神^增

神功皇后朔日曰御出十日神夏能

在攝州伏見

駅京町東祭

有之神輿一基造山ニ基遷物等出

所祭牛頭天皇

在攝州伏見

四宮祭 十 所祭四坐大比叡大己貴命小比叡國常立尊氣比仲哀天皇

日 小禪師火々出見尊大津浦中大祭也神輿二基引山十一遷

物囃子造花等從神輿前後而

是市ヲ守ル神ヘ外ヲ壳又

具行粧善美尽入夜有相撲

住吉社地ニ市媛神社アリ

銀ヲ入ル器ヲ取鉢ト

是市ヲ守ル神ヘ外ヲ壳又

云升ト同ク壳買ス

天滿天神有神輿一基鉢五

本小倉祭 十五 豊前国到津祠祭神應神天皇

日 神功皇后玉依姬有流鑑馬

在洛北白川里南山上祭神

粟田口祭 十五 都名所圖会粟田天王社ハ御猿堂の東に在リ本殿ハ

日 感神院新官ニ神輿一基鉢十五本白川の細き橋を渡

在洛北白川里南山上祭神

白川祭 十三 在洛北白川里南山上祭神

日 天滿天神有神輿一基鉢五

在洛北白川里南山上祭神

弓曲持一て真
を催す云々 神田祭 十五 武州江戸祭神大己貴命合祭將門吳干同
社丑卯巳未酉亥隔年神輿渡御遷子出ル

増勸学会 十五 三月二 円シ 牛祭 十五 日

於太宰上宮王院庭今夜修
牛祭寺僧集会祭摩多羅神

文悉懺悔之詞畢門前有相撲

守岩座大明神八幡賀茂松尾山王住吉春日新羅太神宮貴布祢稻尚平野
共十二坐也俗ニ尻たゞき袴と云れ入神代を就まくに一村の内射婚
の女を擇て婚礼の裏衣を着て神供の器を以小戴き
神ちに引を老若小き枝本を以て郭帰の尾を折る

岩倉祭 十五 洛北岩倉

大雲寺鎮

周防国吉敷郡仁壁神社^{仁壁ハ山古名}祭神住吉三神合祀二
神味耜高彦根命下照姫命各一社已上三坐有流鑑馬

伊勢御遷宮 増度会郭嘗舍外宮十六日内宮十七日乞^ハ

禁底より初稻を伊勢兩宮へ

奉らせよと云ひに

早稻米の御臺と云

在攝州豊嶋郡池田村北山上号綾羽大明神

和被衣荒妙衣ノ神供ヲ備ヘ神衣祭ト称ス

吳服祭 十八 右同村田圃

ノ中ニアリ

定祭 十六日或 丈荒木社祭在城州淀小橋北又淀水

サニ日正 岷淀姫大明神祭^{サニ}未知何是

在攝州豊嶋郡池田村北山上号綾羽大明神

和被衣荒妙衣ノ神供ヲ備ヘ神衣祭ト称ス

吳服祭 十八 右同村田圃

ノ中ニアリ

奉らせよと云ひに

在攝州豊嶋郡池田村北山上号綾羽大明神

和被衣荒妙衣ノ神供ヲ備ヘ神衣祭ト称ス

吳服祭 十八 右同村田圃

ノ中ニアリ

西社具間僅十町許云々吳國ヨリ來
リニ縫工女吳織穴織ヲ祭レルナリ

蛭子祭

廿一 坐洛東建仁寺
门前千光國師

飯宋時舟中暴風之難偶有蛭子像波漂者收之於舟中祭之舟無恙歸寺建
社而祭之到今赴西海人詣此社而祈無風波難故袛旅夷宮川町辺祭之遼

物造物等有之神輿

座摩祭

廿二 委ク六月ニシルス大坂ノ

一基指鉢等出ル

諏訪祭

廿日 肥前國長崎ノ惣社ナリ此

レ庄六月ハ重ク

津村祭

廿日 祭ニ清人ト蘭人ト西日ニ

九月ハ輕シ云々

北山祭

廿六日正 在洛北衣笠岳艮平林

レ庄六月九月兩度ナレ庄六

天端流鑄馬

廿五 委ク六

月ハ重ク九月ハ輕シトソ

天端流鑄馬

廿五 委ク六

毛あ駄より曲る糸を一人ツ出す此日ハ增

天端流鑄馬

廿五 委ク六

月ハ重ク九月ハ輕シトソ

天端流鑄馬

廿五 委ク六

詳神未

北山祭

廿七日正 中土人云六所明神祭

鴨滌祭

津村祭

廿七日正 在撰州西成郡大坂津村祭神

日

津村祭

廿七日正 在撰州西成郡大坂津村祭神



